



令和8年度 学校だより 6月号

なかお



第479号  
令和8年5月25日  
発行者 横浜市立中尾小学校  
校長 丹野 一郎  
<https://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/nakao/>

## 「大切な学びの場としての“スポーツフェスタ”」

副校長 佐藤 真之

木々の緑が日ごとに濃さを増し、初夏らしい爽やかな日々が続いております。

学校では、スポーツフェスタに向けた準備が進み、演技のかけ声や応援の音が響き渡り、校内は活気に溢れています。いよいよ今週、スポーツフェスタ 2026 が開催されます。保護者や地域の皆さまには、演技や競技に全力で取り組む姿、仲間と協力する姿、自分の役割や仕事に責任をもって取り組む姿など、さまざまな場面で成長した子どもたちの姿をご覧いただけることと思います。温かいご声援をどうぞよろしくお願いいたします。

今年度の中尾小学校のスローガンは、「仲よく成長 中尾スターズ ～カ かがやく 一年に～」に決まりました。このスローガンは、代表委員会の児童が考えた原案を各クラスで検討し、代表委員会での協議を経て決定したものです。そこには、「みんなが互いに協力し、学年の枠を越えて仲を深めながら、共に成長していこう」という願いが込められています。

今年度を実施されるさまざまな行事は、このスローガンを意識して取り組んでいきます。スポーツフェスタにおいても、個人のみあてに加えて、児童一人ひとりがこのスローガンを心に留めながら、めあてに向かって活動に励んでいます。

このように、スローガンは児童自身がかつ「目標」と言えますが、一方で、教職員にも大切にしている「めあて」があります。それは、スポーツフェスタを通して「どのような子どもを育てたいのか」「どのような力を身に付けさせたいのか」という、明確な子ども像です。スポーツフェスタにおける学校としてのねらいは、次の通りです。

### 【スポーツフェスタにおける学校としての“ねらい”】

- ① 友達と協力し合いながら互いに認め合い、よりよい人間関係を築けるようにする。
- ② 集団行動に自主的に取り組み、自他の課題に向けて思考、判断したことを他者に伝える力を養う。
- ③ 各種の運動の行い(動作技術)を理解し、基本的な動きや技能を身に付けるようにする。

本校では、スポーツフェスタを単なる行事としてではなく、子どもたちの成長を促す大切な学びの場と捉えています。スポーツフェスタでは、「友達と協力し互いに認め合うこと」「自ら考え判断し、それを伝え合うこと」「運動の基本的な動きや技能を身に付けること」の3つをねらいとし、教師一人ひとりがそのねらいを明確に意識して指導にあたっています。

練習の場面では、教師がねらいに応じた声かけや場の設定を工夫することで、子どもたちが主体的に関わる姿を引き出しています。例えば、友達と声をかけ合いながら動きをそろえたり、うまくいかない仲間を励ましたりする姿は、協力や相互理解を育てる指導の中で育まれているものです。また、競技や応援の工夫について考えを出し合う場面では、「なぜそう考えたのか」を大切にされた指導を通して、自分の思いを伝えたり、他者の考えを受け止めたりする力が伸びてきています。さらに、走り方や動きのポイントを具体的に示しながら繰り返し挑戦させることで、一人ひとりが理解を伴った技能の向上を実感できるようにしています。

運動会当日は、こうした日々の積み重ねの中で培われた力が、子どもたちの生き生きとした姿となって表れることと思います。勝ち負けだけではなく、その過程における成長や仲間とともに努力する姿にも、ぜひ目を向けていただければ幸いです。